

大崎市民病院 本院リハビリテーション室	
基本理念	「ここにいたいと思える職場」
基本方針	
① 求める成果を自分たちで築いていく職員の育成 ～治療成果・風土醸成・環境・仕組み・関係づくり～ 誰かのせいではなく、自分で変える責任と力。 手を取り合おう。 その先にある喜びと笑顔のために。	
② 質の高いリハビリを提供できる職員の育成 我々は変化させるプロです。 自分が変われないなら人を変えることなんて 到底できるはずがない。 多様化する社会と共に、自らの変化を恐れずに 進もう、共に前へ。	
③ 全ての人に思いやりのある職員の育成 目の前にいるその人は、誰かにとっての大切な人である。 その人を攻撃したり苦しませることをして良いはずがない。 求めたいのはあたたかな気持ちと創造性。 こうすればもっと良いかも！ 患者さん・同僚・先輩・後輩・上司。 すべての人が笑顔になる関わりと提案をしよう。	
④ 経営意識の高い職員の育成 一人一人が病院・部門の健全経営に対し高い意識を持とう。 狭い価値観で患者さんへの関わりや リハビリテーションサービスをカテゴライズしてはいけない。 私たちの丁寧な関わりと創造が 患者さんの笑顔と健全経営・ここにしかない職場を作り出す。	

実施月	4月				
目標	テーマ:「社会人・組織人」 ～自覚/カルテの基本操作～		・社会人として基本的態度を身に付ける。 ・組織の一員としての自覚を持つことが出来る。 ・業務の流れを理解する。 ・電子カルテの基本的操作が出来る。		
教育内容	大項目	中項目	担当	内容	
	基本方針	大崎市民病院 理念	管理		
	部門体制	部門理念・基本方針・連絡網	管理	組織図、役割分担、連絡網:LINE登録(管理職/部門内/感染/災害)	
	就業関係	出退勤管理	管理	打刻入力、修正	
		休暇申請		年休、特休、振休、休みの報告先	
		時間外申請		平日(事前申告:業務進行状況/時間):報告先	
		業務量管理・調整		休日/祝日(出張等) 業務量把握表の運用方法 目標単位数、帰宅時間 新患振り分け準備、方法 グループ制	
	接遇	職員・社会人としてのマナー	指導者	社会人・公務員として 患者対応 職員同士の対応 電話対応 風土を醸成するということ	
	業務内容	個人情報について	指導者	バインダー、クリップの目的と使用方法 患者予定表等の個人情報文書の取り扱い、紛失時の対応 カルテ閲覧時の注意事項 スキャン済み文書の取り扱い:計画書/各種検査用紙/チェックリストなど	
		病棟システム		心電図、リハビリテーション科、病棟配置と仕組み、リハビリ札	
		スケジュール		1日:就業時間、ミーティング、昼休憩	
		搬送表システム		1週間:各種カンファレンス(リハビリテーション科/心臓血管外科等) 送迎可能時間帯、申し送り内容・方法、助手の役割(チーム)	
		清掃		定期)朝:8:20～8:30 リハ助手:リハ室手前半分/リハ事務:カウンター 昼:食事後 スタッフ:燃えるゴミ集め 夕:15:20～16:00 リハビリ助手:リハ室奥半分 * 15:20以降、リハ室奥半分の使用は控える/使用した場合清掃する 都度)使用物品の清掃:歩行器などの補助具、血圧計などの医療機器	
		休みの申し送り		患者/同職種/他職種への申し送り 代理実施割り振り表作成	
	感染管理	感染予防	感染管理	標準感染予防策 担当患者の感染症発症時:報告と対応	
		汚染時の対応		本人/家族の感染症発症時:報告と対応 排泄物、血液、吐物の対応 使用物品の消毒方法	
		リネン		ユニフォームの洗濯	
	医療安全	緊急時対応練習 インシデントレポート	医療安全	BLS/KYT/急変時対応/ライントラブル/コードブルー/スタッフコール	
	防災対策	災害時連絡	管理	担当者へ報告、インシデントレポート作成 参集基準/災害時連絡(報告連絡相談・連絡網)	
	診療内容	カルテ	係 + 指導者	基本的なカルテ操作 患者登録/リハビリ予約/リハビリ実施/担当者スケジュール カルテ閲覧/入力/登録 サマリー:初回・最終評価、ショートサマリー(1回/週) 転院経過連絡・連携パス(脳卒中・大腿骨・心不全) カンファレンス:リハ科、心外、その他都度記載 退院時指導料算定:指導対象者、内容記載	
				患者登録	担当者決定後、速やかに電子カルテで登録 追加処方、再処方、担当者変更時は変更登録
		実施算定	医事	算定項目 脳血管、廃用、心大血管、運動器、呼吸器(PO) 摂食(S)、がん(研修終了後) 退院時リハビリテーション指導料 がんリハ総合実施計画書(1回/月)	
診療報酬				実施計画書 ・入院初回:リハ医作成/担当者サイン取得 ・初回以降(追加・再処方):担当者作成/サイン取得 ・がんリハ総合実施計画書(1回/月):担当者作成/サイン取得 目標設定等支援管理料 ・患者登録時フラグ ・目標設定管理シート作成 退院時リハビリテーション指導料	
				リハ事務への報告	指導者
リハ科ベッド				リハ科病床の位置付け/概論 リハ科転科までの流れ	
メモ:					

5月/6月/7月/8月/9月														
テーマ:「業務遂行」 ～指導期～						具体目標/行動目標: 助言/key words:								
大項目	中項目	内容	メモ	実施月	最終月 評価	大項目	中項目	内容	メモ	実施月	最終月 評価			
コミュニケーション		患者さんとコミュニケーションがとれる 他職種(医師・看護師等)とコミュニケーションがとれる 必要な情報を医師等から確認することが出来る 状態変化や転倒、申し送り等の必要な情報を病棟へ提供することが出来る				治療全般	情報収集	必要な情報をカルテから収集することが出来る(体調/指示/検査予定等) 必要な情報をカルテから収集することが出来る(検査結果等) カルテから発症の様子/経過/生活像などを収集しイメージすることが出来る 不足している情報を関係者から迅速に収集することが出来る						
動作介助	判断	動作能力の判断が出来る 転倒等の危険に関する判断・予測・準備が出来る					問診 評価	必要な情報を患者さんから収集することが出来る 適切な評価が出来る(CL・Br/s・ROM・BIなど) 問題分析ができる						
	実技	軽介助の動作介助が出来る 中介助の動作介助が出来る 重介助の動作介助が出来る 簡単なライン管理を行いながら動作介助が出来る 複雑なライン管理を行いながら動作介助が出来る					目標設定 実施 相談 資質	明確な目標設定が出来、患者さんと共有することが出来る 質の高い治療を提供することが出来る 治療や困っている内容を自ら他者へ相談することが出来る 常に寄り添い、思いやりと熱意があり行動できる						
		知識・実技	離床基準が理解出来る バイタル測定が出来る SPO2が理解出来る ベッドサイドモニターを操作できる					大腿骨転子部骨折	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) しっかりしているなど 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) しっかりしているなど 中～ハイリスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 認知症/心疾患など					
			確認・判断・実行	安静度を確認することが出来る バイタル測定・心電図装着・確認等の必要なタイミングが分かる バイタル測定・心電図確認等が必要なタイミングで評価することが出来る					その他骨折	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 中～ハイリスク骨折のリハ実施 多発骨折+免荷など				
				心電図	離床基準・安静度を照らし合わせながら離床することが出来る 指示間違いの可能性がある場合、それに気づき相談・確認することが出来る 問診から体調の変化に気づき、適切な確認・判断することが出来る リハビリや運動の継続・中止が判断できる リハビリや運動の継続・中止が判断でき、報告することが出来る ステップアップ・ステイ(維持)・ステップダウンの判断が出来る					松葉杖指導 部分荷重/免荷指導	安全な松葉杖指導が出来る 適切な松葉杖指導が出来る 動作指導の共通点を基に指導ができる(例:Pick up と松葉杖など)			
記録	簡単な心電図が理解出来る 難しい心電図が理解出来る 心電図の装着ができる モニター操作ができる 適切なモニター管理が出来る(配置場所・確認頻度等) モニター上で心電図を読むことが出来る 心電図変化に気づくことが出来る 心電図変化に気づき報告することが出来る 心電図変化に気づくことが出来、適切な対応をすることが出来る リスク管理上必要な情報をカルテに記録することが出来る								脊柱疾患	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施				
	医療安全	緊急対応			気づく 安全確保 呼ぶ・共有 対応 対応 対応 安全確保 報告 安全確保 他 記録 対応	患者さんの変化に気づき人を呼ぶことが出来る(担当) 患者さんの変化に気づき、安全を確保することが出来る(担当) 状態の変化を他者へ適切に伝えることが出来る(担当) 意識レベルやバイタル等の経時的変化を適切におうことが出来る(サブ) 記録が出来る(記録) リーダー役ができる(指示) 状況に応じた声がけや柔軟な対応をすることができる 周囲の患者さんの安全を配慮することが出来る 病棟への報告が出来る 安全な搬送が出来る ストレッチャー操作・シーツ等の準備、片付けが出来る カルテへ記録することが出来る 12誘導心電図の準備・操作対応が出来る				脳血管疾患	脳卒中 硬膜下血腫等	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) しっかりしている/軽度麻痺など 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 軽度麻痺/軽介助など 中等度リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 中等度麻痺/中介助など ハイリスク群のリハ実施 重度麻痺・意識障害・嚥下障害/重介助など		
			くも膜下出血		ICUでのリハビリ実施(離床準備期～離床期) ICUでのクランプ等のラインの管理・確認・他職種連携									
				嚥下障害	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 経口摂取の判断が適切にできる ステップアップ・中止の判断が適切にできる									
顔面神経麻痺			指導/リハ実施											
			廃用症候群		安定した患者さんのリハ実施(リハ室) 低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる									
呼吸器疾患					低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施								
			心リハ(循環器)	心不全	低リスク群のリハ実施 初発例等 中～ハイリスク群のリハ実施 再発例/重複障害等 上手にステップアップできる									
AMI				低リスク群のリハ実施 合併症なし/心筋ダメージ小等 中～ハイリスク群のリハ実施 合併症多/心筋ダメージ大/重複等										
CPX				CPXが理解出来る 12誘導心電図が装着できる 一連の準備・患者指導が出来る										
解離(保存)				解離のリハ実施										
記録			カルテ	心リハ(心外)	心外術後のリハ実施									
				がんリハ	安定した患者さんのリハ実施(リハ室またはベッドサイド) 維持目的など 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 廃用/回復目的など がんリハ研修の受講									
		中～ハイリスク群のリハ実施 副作用/症状変化/感染リスクなど												
		進行性疾患			進行性疾患のリハ実施(神経難病など) ステップアップ・ステイ(維持)・ステップダウンの判断が出来る									
		患者教育	自主練習指導が実施できる 再発予防が指導できる 必要な指導書が作成できる											

10月/11月/12月																				
テーマ： 「力を借りながら問題解決」 ～助言期～						具体目標/行動目標： 助言/key words：														
大項目	中項目	内容	メモ	実施月	最終月 評価	大項目	中項目	内容	メモ	実施月	最終月 評価									
コミュニケーション		患者さんとコミュニケーションがとれる 他職種（医師・看護師等）とコミュニケーションがとれる 必要な情報を医師等から確認することが出来る 状態変化や転倒、申し送り等の必要な情報を病棟へ提供することが出来る				治療全般	情報収集	必要な情報をカルテから収集することが出来る（体調/指示/検査予定等） 必要な情報をカルテから収集することが出来る（検査結果等） カルテから発症の様子/経過/生活像などを収集しイメージすることが出来る 不足している情報を関係者から迅速に収集することが出来る												
動作介助	判断	動作能力の判断が出来る 転倒等の危険に関する判断・予測・準備が出来る						問診	必要な情報を患者さんから収集することが出来る											
		実技	軽介助の動作介助が出来る 中介助の動作介助が出来る 重介助の動作介助が出来る 簡単なライン管理を行いながら動作介助が出来る 複雑なライン管理を行いながら動作介助が出来る							評価	適切な評価が出来る（CL・Br/s・ROM・BIなど） 問題分析ができる									
	知識・実技		目標設定 実施 相談 資質	明確な目標設定が出来、患者さんと共有することが出来る 質の高い治療を提供することが出来る 治療や困っている内容を自ら他者へ相談することが出来る 常に寄り添い、思いやりと熱意があり行動できる																
			大腿骨転子部骨折	安定した患者さんのリハ実施（リハ室） 低リスク群のリハ実施（ベッドサイド～リハ室） 中～ハイリスク群のリハ実施（ベッドサイド～リハ室） 安定した患者さんのリハ実施（リハ室） 低リスク群のリハ実施（ベッドサイド～リハ室） 中～ハイリスク骨折のリハ実施 多発骨折+免荷など																
				その他骨折	安全な松葉杖指導が出来る 適切な松葉杖指導が出来る 動作指導の共通点を基に指導ができる（例：Pick up と松葉杖など）															
		松葉杖指導 部分荷重/免荷指導			低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 各脱臼肢位が理解出来る 脱臼肢位の指導が出来る 低リスク群のリハ実施（ベッドサイド～リハ室） 中～ハイリスク群のリハ実施（ベッドサイド～リハ室） 認知症/円背など															
リスク管理				確認・判断・実行	THAのリハ実施 期限内に上手にステップアップできる（3週） TKAのリハ実施 期限内に上手にステップアップできる（3週） 安全にステップアップできる						脳血管疾患	脳卒中 硬膜下血腫等	安定した患者さんのリハ実施（リハ室） 低リスク群のリハ実施（ベッドサイド～リハ室） 中等度リスク群のリハ実施（ベッドサイド～リハ室） ハイリスク群のリハ室実施 重度麻痺・意識障害・嚥下障害/重介助など							
		心電図	ICUでのリハビリ実施（離床準備期～離床期） ICUでのクランプ等のラインの管理・確認・他職種連携					くも膜下出血	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 経口摂取の判断が適切にできる ステップアップ・中止の判断が適切にできる											
	記録		指導/リハ実施 安定した患者さんのリハ実施（リハ室） 低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる						顔面神経麻痺	安定した患者さんのリハ実施（リハ室） 低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる										
			緊急対応		低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施								廃用症候群	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる					
					インシデント	低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施									心不全	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる			
						実技	低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器			低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施								AMI	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる	
				感染管理			低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器			低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施					CPX		低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる			
		記録					低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施					解離（保存）				低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる			
	カルテ						低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施				心リハ（心外）					低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる			
			サマリー				低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施						がんリハ			低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる			
					紹介状		低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施								進行性疾患	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる			
						経験/担当した疾患：	低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施									患者教育	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる		

1月/2月/3月																				
テーマ:「主体性」 ～低リスク群の対応ができる～						具体目標/行動目標:														
・基本的一連の患者対応が一人で出来る。 ・リスク管理を行いながら低リスク群のリハビリ実施が出来る						助言/key words:														
大項目	中項目	内容	メモ	実施月	最終月 評価	大項目	中項目	内容	メモ	実施月	最終月 評価									
コミュニケーション		患者さんとコミュニケーションがとれる 他職種(医師・看護師等)とコミュニケーションがとれる 必要な情報を医師等から確認することが出来る 状態変化や転倒、申し送り等の必要な情報を病棟へ提供することが出来る				治療全般	情報収集	必要な情報をカルテから収集することが出来る(体調/指示/検査予定等) 必要な情報をカルテから収集することが出来る(検査結果等) カルテから発症の様子/経過/生活像などを収集しイメージすることが出来る 不足している情報を関係者から迅速に収集することが出来る												
動作介助	判断	動作能力の判断が出来る 転倒等の危険に関する判断・予測・準備が出来る						問診	必要な情報を患者さんから収集することが出来る											
		実技	軽介助の動作介助が出来る 中介助の動作介助が出来る 重介助の動作介助が出来る 簡単なライン管理を行いながら動作介助が出来る 複雑なライン管理を行いながら動作介助が出来る							評価	適切な評価が出来る(CL・Br/s・ROM・BIなど) 問題分析ができる									
	知識・実技		離床基準が理解出来る バイタル測定が出来る SPO2が理解出来る ベッドサイドモニターを操作できる						目標設定	明確な目標設定が出来、患者さんと共有することが出来る										
			確認・判断・実行	安静度を確認することが出来る バイタル測定・心電図装着・確認等の必要なタイミングが分かる バイタル測定・心電図確認等が必要なタイミングで評価することが出来る							実施	質の高い治療を提供することが出来る								
				心電図	離床基準・安静度を照らし合わせながら離床することが出来る 指示間違いの可能性がある場合、それに気づき相談・確認することが出来る 問診から体調の変化に気づき、適切な確認・判断することが出来る リハビリや運動の継続・中止が判断できる リハビリや運動の継続・中止が判断でき、報告することが出来る ステップアップ・ステイ(維持)・ステップダウンの判断が出来る								相談	治療や困っている内容を自ら他者へ相談することが出来る						
		記録			簡単な心電図が理解出来る 難しい心電図が理解出来る 心電図の装着ができる モニター操作ができる 適切なモニター管理が出来る(配置場所・確認頻度等) モニター上で心電図を読むことが出来る 心電図変化に気づくことが出来る 心電図変化に気づき報告することが出来る 心電図変化に気づくことが出来、適切な対応をすることが出来る リスク管理上必要な情報をカルテに記録することが出来る									資質	常に寄り添い、思いやりと熱意があり行動できる					
医療安全					緊急対応			気づく 安全確保 呼ぶ・共有 対応 対応 対応 安全確保 報告 安全確保 他 記録 対応		患者さんの変化に気づき人を呼ぶことが出来る(担当) 患者さんの変化に気づき、安全を確保することが出来る(担当) 状態の変化を他者へ適切に伝えることが出来る(担当) 意識レベルやバイタル等の経時的変化を適切におうことが出来る(サブ) 記録が出来る(記録) リーダー役ができる(指示) 状況に応じた声かけや柔軟な対応をすることができる 周囲の患者さんの安全を配慮することが出来る 病棟への報告が出来る 安全な搬送が出来る ストレッチャー操作・シーツ等の準備、片付けが出来る カルテへ記録することが出来る 12誘導心電図の準備・操作対応が出来る							整形外科疾患	大腿骨転子部骨折	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) しっかりしているなど 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) しっかりしているなど 中～ハイリスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 認知症/心疾患など	
						インシデント	インシデント報告が出来る インシデント記録が出来る 適切な問題点・解決策が出せる インシデント報告の意味を理解し、前向きに取り組むことが出来る								その他骨折	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室)				
	実技						BLS受講 緊急対応シミュレーション 標準予防策が実行できる 担当患者や周囲の患者、自身・家族の感染症発生時に報告することが出来る 使用物品の衛生を保つことが出来る 汚染時の消毒方法が理解出来、実行することが出来る 日々の記録が書ける					松葉杖指導 部分荷重/免荷指導				中～ハイリスク骨折のリハ実施 多発骨折+免荷など 安全な松葉杖指導が出来る 適切な松葉杖指導が出来る 動作指導の共通点を基に指導ができる(例:Pick up と松葉杖など)				
			記録				個別性 メッセージ性 効率性 ショートサマリーが書ける 個別性 紹介状が書ける 効率性				脊柱疾患					低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施				
				経験/担当した疾患:			がんリハ	安定した患者さんのリハ実施(リハ室) 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) がんリハ研修の受講 中～ハイリスク群のリハ実施 副作用/症状変化/感染リスクなど								大腿骨頸部骨折			各脱臼肢位が理解出来る 脱臼肢位の指導が出来る 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) しっかりしているなど 中～ハイリスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 認知症/円背など	
		進行性疾患						THAのリハ実施 期限内に上手にステップアップできる(3週) TKAのリハ実施 期限内に上手にステップアップできる(3週) 安全にステップアップできる						人工関節置換術 (THA)					低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施	
患者教育					脳卒中 硬膜下血腫等			安定した患者さんのリハ実施(リハ室) しっかりしている/軽度麻痺など 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 軽度麻痺/軽介助など 中等度リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 中等度麻痺/中介助など ハイリスク群のリハ室実施 重度麻痺・意識障害・嚥下障害/重介助など									人工関節置換術 (TKA)	ICUでのリハビリ実施(離床準備期～離床期) ICUでのクランプ等のラインの管理・確認・他職種連携		
					心リハ (循環器)	くも膜下出血		低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 経口摂取の判断が適切にできる ステップアップ・中止の判断が適切にできる							手の外/切断			安全にステップアップできる		
	顔面神経麻痺					嚥下障害		低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 経口摂取の判断が適切にできる ステップアップ・中止の判断が適切にできる					廃用症候群					指導/リハ実施		
			呼吸器疾患			低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器		安定した患者さんのリハ実施(リハ室) 低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる				心不全						低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 上手にステップアップできる		
				AMI		低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施				CPX					低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 合併症なし/心筋ダメージ小等 合併症多/心筋ダメージ大/重複等				
		解離(保存)				低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施							解離(保存)		CPXが理解出来る 12誘導心電図が装着できる 一連の準備・患者指導が出来る				
心リハ(心外)						低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施									心リハ(心外)	解離のリハ実施 心外術後のリハ実施			
					がんリハ	低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施								がんリハ		安定した患者さんのリハ実施(リハ室またはベッドサイド) 維持目的など 低リスク群のリハ実施(ベッドサイド～リハ室) 廃用/回復目的など がんリハ研修の受講 中～ハイリスク群のリハ実施 副作用/症状変化/感染リスクなど			
	進行性疾患					低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施						進行性疾患				進行性疾患のリハ実施(神経難病など) ステップアップ・ステイ(維持)・ステップダウンの判断が出来る			
			患者教育			低リスク群 中～ハイリスク群 人工呼吸器	低リスク群のリハ実施 中～ハイリスク群のリハ実施 人工呼吸器装着下でのリハビリ実施					患者教育					自主練習指導が実施できる 再発予防が指導できる 必要な指導書が作成できる			